

トルコ 柑橘類とザクロの良好な年

[FreshPlaza 2024年12月24日](#)

トルコの青果物輸出業者アクスン社の販売部長であるアキン・ソイレレン氏は、今年は柑橘類とザクロが大変良好であったとして、「トルコに拠点を置く柑橘類輸出業者として、今シーズンの柑橘類事業の成功とザクロの優れた品質を報告できることを誇りに思う。トルコ産の柑橘類は、国際市場で引き続き信頼される選択肢となっている。今年はまた、鮮やかな色、優れたサイズ、さらに大変際立つ香りを備えたザクロの収穫も良好であった」と述べた。(以下「」は同氏の話)

同氏は、同社の事業のうち包装と物流の面をさらに改善するために投資を行ったと説明する。「我々の事業は、果樹園から梱包施設まで、地元の資源に深く根ざしている。今年は、世界の取引先の進化するニーズを満たすために、プレミアムな包装と最適化された物流への取組みをさらに強化した。一貫性と革新性を優先することで、弊社はトルコの製品の品質を重視するバイヤーとの関係を強化している。」

物流上の課題を受けて、同社はアジア以外の市場に注力することを選択した。「トルコリラが強い(原文のまま)ため、輸出事業を着実かつ戦略的に進めることにした。効率を高め、一定の輸出戦略を維持し、事業の安定性を確保するため、投資的を絞っている。スエズ運河の封鎖など、現在の世界的な課題を踏まえ、極東アジアへの輸送時間の長さや遅延の可能性を考慮し、この地域への出荷を最小限に抑えることで対応した。この調整により、我々は最善の鮮度と信頼性で農産物を提供できる市場に集中することが可能になる。」

2024年は同社にとって総じて良い年であり、彼らは2025年に進むことに期待を持っている。「今シーズンの成果は、競争の激しい世界的な状況におけるレジリエンス(困難に対する回復力)と戦略的思考の重要性を強調している。取組みの結果を報告できることを嬉しく思い、今後のシーズンもこの勢いに乗っていきたい。」

執筆者: ニック・ピーターズ (翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

ニュージーランド リンゴの収穫開始はやや早くなる予想

[FreshPlaza 2024年12月24日](#)

「特にギズボーンとホークスベイで収穫がやや早くなると予想される」

2024年はニュージーランド産のリンゴに関して素晴らしいシーズンであったとして、ファーンリッジフレッシュ社の輸出販売担当役員であるカート・リビングストン氏は、ほとんどの品種がすべての市場で好調だったと述べた(以下「」は同氏の話)。「2024年は品質が良かった。2年続きで悪天候に見舞われた後、『普通のシーズン』を迎えることができて良かった。リンゴはすべての市場で好調で、生産者により収益をもたらした。」

同社は、2024年8月までにリンゴを売り切った。「中国はニュージーランド産のリンゴ、特にロイヤルガラとNZクイーンにとって最も重要であった。他のアジア諸国でも好調であったが、米国と南アフリカからの供給が増加したため、明らかに圧力がかかった。」

KORU®の再ブランド化 同社は2024年にKORUリンゴのリブランディングを行い、同氏によると市場での反応は大変良かった。「新しいブランディングはプロモーション活動の増加と相まって、KORU®ブランドが好調なベトナムで特に効果的であった。」

2025年のリンゴの作柄 「ニュージーランドの今シーズンの収穫は大変良さそうだ。見た目がきれいで、果実は早くから良いサイズになっている。これまでのところ春から夏にかけて気温が高く、最近の良い時期に雨が降った。新しいシーズンが始まるのが楽しみである。気象被害はなく、春は暖かく穏やかで、素晴らしい夏の始まりを迎えた。収穫は、特にギズボーン、ホークスベイ両地域でやや早くなると予想している。市場について語るのはまだ早いですが、今シーズンのニュージーランド産リンゴはアジア市場が好調だと予想している。ニュージーランドでは優れた品質を提供することを重視しており、市場は常にそれに報いてくれる。」

執筆者: ニコラ・マクレガー (翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)